



発行者 千葉県学童保育連絡協議会 船橋市本町3-4-3 千葉保育センター内
 TEL047-424-8102 FAX047-424-8108 e-mail chibagakudo@nifty.com

千葉県学童保育指導員新人研修会 報告

平成23年3月6日(日)10:00～松戸市民会館にて
 千葉県学童保育指導員新人研修会が開催されました。



優しい口調で、体験談を語る河野先生

今回の新人研は「学童保育の役割と指導員の仕事」と題して、埼玉県飯能市指導員を20年勤めている河野伸枝さんにお話しをしていただきました。

学童保育とは親たちの願いが託された場であり、ただ子どもに怪我のないように見ているだけが、指導員の仕事ではないとの話から始まりました。親の都合で学童に預けられ

る子どもたち、時には「お母さんと一緒にいたい」と泣く子ども。学校で嫌な

ことがありその嫌な気持ちを引きずり、学童へ帰ってくる子ども。子どもたち一人ひとりが発する言葉や行動から、その裏に隠されている本当の気持ちに寄り添い、子どもたちを受け入れることの大切さ。また時にはその子どもの家庭環境を理解し、親をも受け入れる指導員としての仕事の体験談は、説得力のあるお話しでした。体験談に登場する子どもたちは「そうそう、そういう子いるいる！」と参加者達も思わず笑いながら、時には小さな子どもに抱えた大きな思いに涙しながら、真剣に聞いていました。



熱心に聞き入る参加者たち



県連会長より挨拶と書籍紹介

学童保育をめぐる最近の動き



1 2011年度学童保育（放課後児童クラブ）予算案

2010年12月24日に新年度の予算案が発表されました。続いて2011年1月21日の全国厚生労働部局長会議では、補助単価等も発表されました。それぞれの単価が引き上げられています。また、「障害児受入推進事業費（指導員一人分の加配費）」などの補助単価も引き上げられました。施設整備費は前年度と同額です。

この予算案に対して国は「子ども・子育てビジョン」等を踏まえて、①受入児童数の拡大に必要なソフト・ハード両面からの支援 ②開設時間の延長促進のための加算 ③運営費補助の改善 ④大規模クラブ解消等に向けた改修費・設備費について必要な個所数を計上したと説明しています。

児童数40人・午後7時まで開設・年間290日開設した場合の補助単価

新年度 403.8万円 (前年度 358.8万円)

(詳細は「日本の学童ほいく」3月号（協議会だより）参照)

2 子ども・子育て新システム検討会議

2月21日に「子ども・子育て新システム検討会議」の作業グループ「基本制度ワーキングチーム」の会合が開催されました。そこでは①市町村の事業とすること。②全国一律の基準の必要性の検討。③「放課後子ども教室」との一体化を目指し、当面は両事業の質の充実することなどが検討されました。

利用手続きはまさに「介護保険」と同様に①市町村が「児童のサービスの必要度を判定し登録管理・利用料の決定を行う。②市町村が保育現場に直接的責任を負わず（事業実施者に責任分割）、事業者の積極的関与を促すもので、子ども不在の放課後となってしまうおそれがあります。



日本の学童ほいく

日本で唯一の学童保育に関する専門誌です。月刊で発行。1冊330円(送料76円)でお届けします。



学童保育に関するありとあらゆる情報が満載。全国で4万人の人が購読しています。2月号特集「子ども理解を深め合い、共に学んだ全国研 in 千葉」です。皆さんにもぜひ読んでもらいたい1冊になっています。

- 2月号特集「子ども理解を深め合い、共に学んだ全国研 in 千葉」は平成22年10月30・31日に開催された全国研の様子が、とてもわかりやすく書かれています。記念講演・特別報告の内容といくつかの分科会の様子がわかります。また当日参加した人たちの写真も掲載され、2日間の熱気が伝わってきます。参加した人は勿論、参加できなかった人も、この機会に購読してみましょう。



《流山市の学童保育 紹介》

山びこルーム 保護者

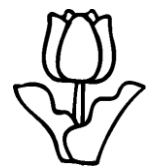
山びこルームでは父母会行事として、5月に親睦会、夏にイベント、3月にはお別れ会を開催しています。

そのほかに先生方が色々な行事を企画してくれて、ミニ運動会では懐かしいパン食い競走等で子供達は楽しんでいます。



3月のお別れ会ではボーリング大会を開催し、親子共々楽しみました。最初は勝手がわからなかった子供達もだんだんとコツを掴み、親顔負けだった子も？！

これからもたくさんの笑顔が見られるように頑張っていきたいと思います。



新システムで学童保育・保育所はどう変わるのか？報告

2月26日（土）に船橋市中央公民館で、浅井 春夫先生（立教大学教授）を招いて、「子ども・子育て新システム」の学習会を千葉県保育問題協議会と共催で行いました。参加者は、57名。「新システム」の考え方の根幹や問題点を縦横無尽に語っていただきました。ポイントは、学童保育・保育、すべて、ビジネスチャンスとして捉える考え方です。本当に子どもたちにとって、快適な学童保育って何なのか？大人たちの問い返しが必要なときだと、痛感させられました。

公的保育制度を崩す「新システム」反対の声を広げていくために、通常国会に向けて第2次請願署名に取り組み、活動を広げましょう！

「新システムって何？」「よくわからないなあ」という人は、新システムがよくわかる書籍が販売されています。地域で学習会を開きましょう。書籍については千葉県学童保育連絡協議会まで。

開催決定！

第36回 全国学童保育指導員学校・南関東会場

2011年6月12日（日）市原市 東海大望洋高校にて

午前中の全体会では、福島大学の宮野大輔先生による、指導員のチームワークについての講演を予定しております。

午後の講座は、入門講座、理論講座、実践講座、実技講座、特別講座と多様な内容となっています。また、それぞれの講座は、全国連協の役員、地域で活躍中の指導員、専門の関係者、大学の先生などに講師をお願いしています。

4月になりましたら、地域からリーフレットが届くように、準備をしております。今から、スケジュール帳に、予定を書き込んでおいてくださいね。